（別添資料１）

事業所名　あいの放課後等デイサービスねやがわ

支援プログラム(児童発達支援)

作成日　令和7 年　1 月　22 日

法人（事業所）理念		ノーマライゼーションの実現「その人なりの生きかたを」　多様な福祉サービスがその利用者の意思を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じた自立した日常生活を地域生活において営むことができるよう支援します。			
支援方針		○障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、児童の身体及び精神の状況や　その置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行います。 ○遊びを通しての仲間関係づくり、生活習慣、社会性の獲得などの発達を支援し、社会のルールやマナーの習得を目指します。 ○児童と保護者の意見、人格を尊重し、児童、保護者の立場に立ったサービスの提供に努めます。 ○地域に密着し、市町村、障がい福祉サービス事業所との密接な連携に努めます。			
営業時間		10 時　00 分から　17 時　30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・心身の状態を定期的に把握。 ・手洗い、排泄、食事などの日常生活動作の支援。 ・衣服の着脱、身だしなみの整え方の支援			
	運動・感覚	・散歩、公園、室内でのサーキット活動等。 ・手洗い、排泄、食事などの日常生活動作の支援。 ・衣服の着脱、身だしなみの整え方の支援			
	認知・行動	・固定されたスケジュール、視覚提示により、自ら気が付いて動くことのできるように支援。 ・手洗い、排泄、食事などの日常生活動作の支援。 ・衣服の着脱、身だしなみの整え方の支援			
	言語 コミュニケーション	・玩具提供の際に言葉やジェスチャーによるやり取り。 ・自由時間にスタッフ、利用者同士でコミュニケーションが取れるように支援。 ・意思表示カード、マカトンの活用。			
	人間関係 社会性	・玩具提供の際に言葉やジェスチャーによるやり取り。 ・自由時間にスタッフ、利用者同士でコミュニケーションが取れるように支援。 ・意思表示カード、マカトンの活用。 ・集団活動による社会性の向上、人間関係構築。			
家族支援		・連絡票、送迎時の申し送り、モニタリングを半年に一度以上実施し、利用者の困りごとの共有、支援方針の統一、家庭での困りごとの把握、助言を行う。	移行支援	・療育園、こども園、他デイサービスと利用者、保護者の情報交換、支援の統一。	
地域支援・地域連携		・近くの畑にて畑利用者との交流。 ・昼食購入、買い物学習時に周辺飲食店、スーパーマーケットを利用。 ・学校、他デイサービスと利用者、保護者の情報交換、支援の統一。	職員の質の向上	・新入職員研修 ・法定研修 ・各職員が受けた研修の周知	
主な行事等		夏祭り、夏休み遠足、ハロウィン、クリスマス会、おもちつき、初詣、節分遊び、おわかれ会			